

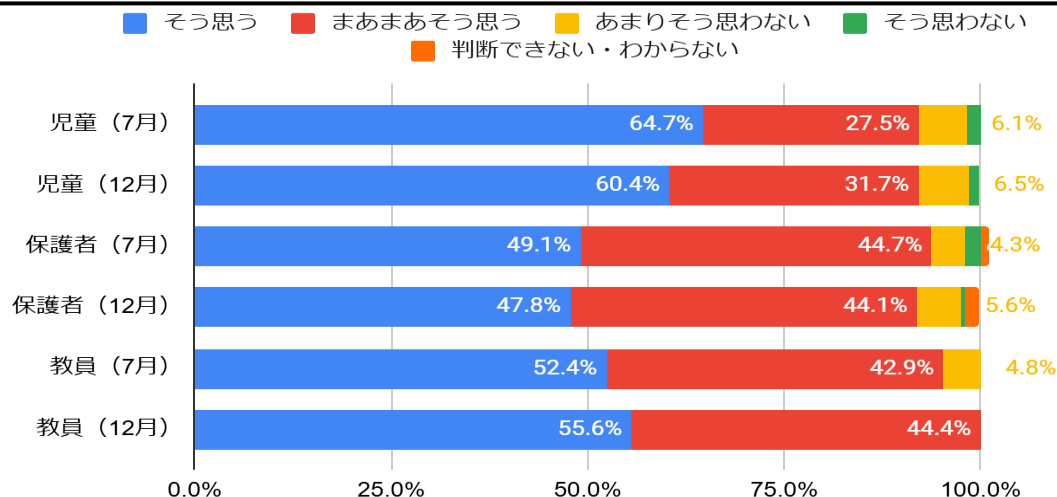


令和6年度 学校評価のご報告

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。このたび、令和6年度学校評価についてご報告いたします。
(回答率 児童92% 保護者60.2% 教員100%)

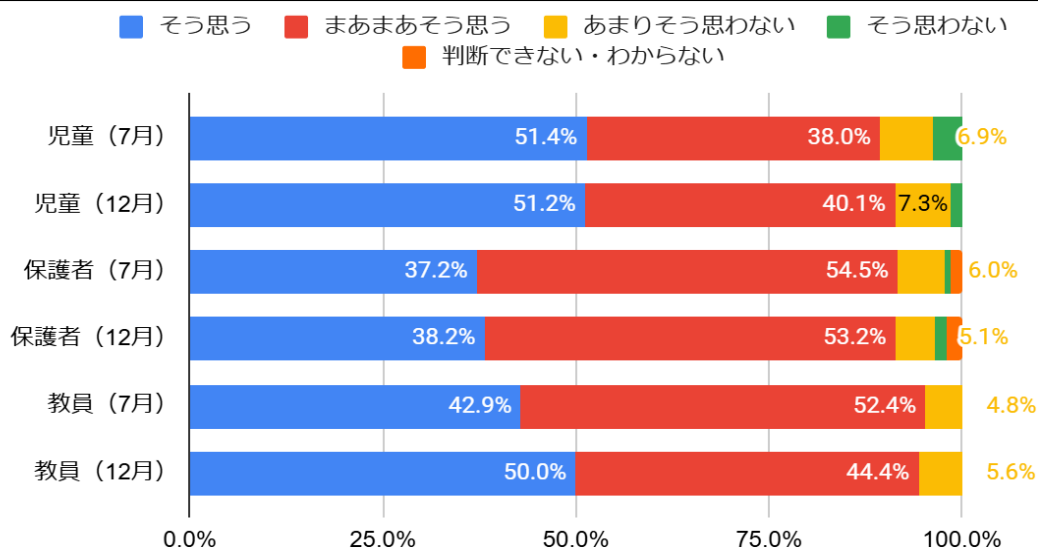
【評価内容と集計結果・分析】

①児童は、学校生活を楽しいと感じている。(児童:学校生活は楽しい)



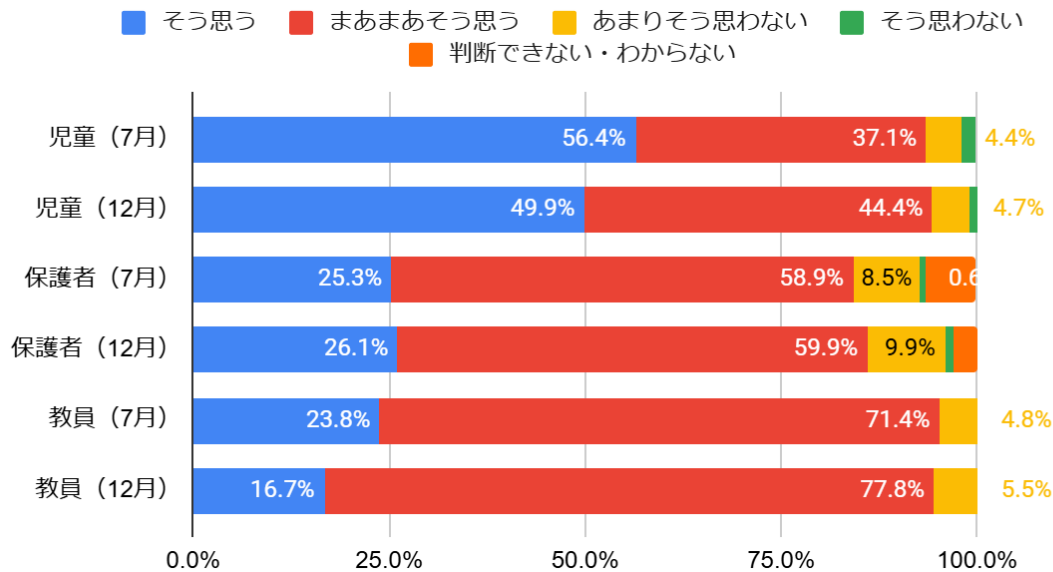
昨年に引き続き、90%以上の児童が学校を楽しいと感じています。保護者や教員も肯定的な意見が多い状況です。その中で、1割の児童が学校生活に何らかの不安・不満を感じています。学校生活全般を通して、児童相互の関わりを一層大切にしながら、どの児童も学校が楽しいと感じられる取組をしていきたいと考えています。

②児童は、学習の基礎・基本を習得している。(児童:漢字や計算などの基礎的な学習は身に付いている)



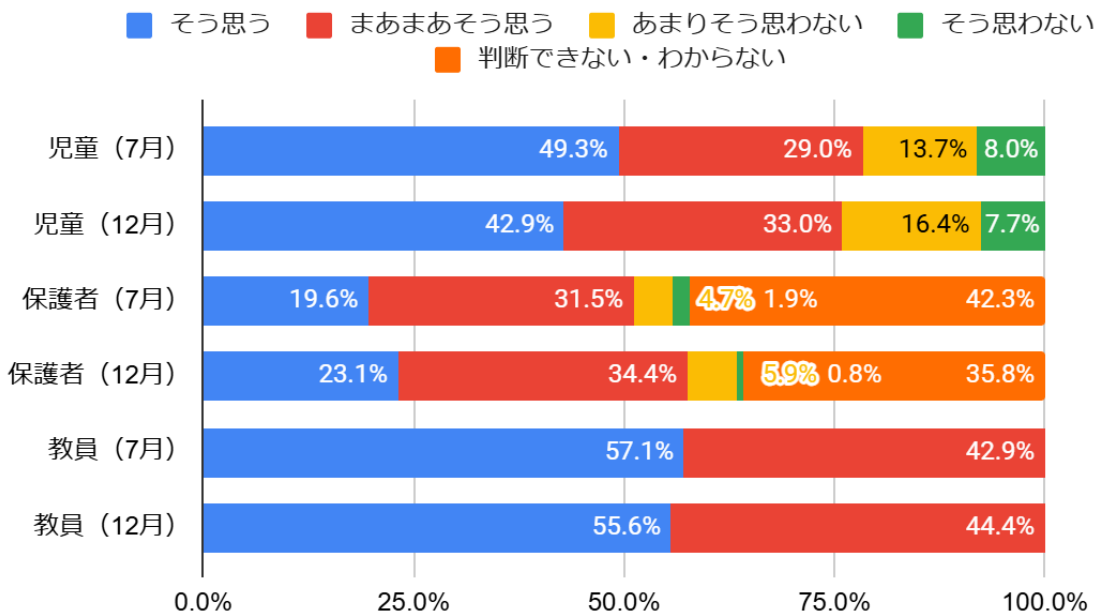
児童、保護者、教員いずれも評価は90%と高い数値でした。一方で、10%の児童が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答しました。今年度は年12回のチャレンジタイムを設定し、算数を中心に苦手な児童を対象として放課後に補充学習を実施してきました。来年度も同様に年間12回程度設定し、学習に苦手意識をもっている児童へのサポートを継続していきます。

③児童は、集団生活のきまりを守り、場に応じた挨拶や言葉遣いが身に付いている。
(児童:学校のきまりを守り、自分からすすんであいさつをしていますか)



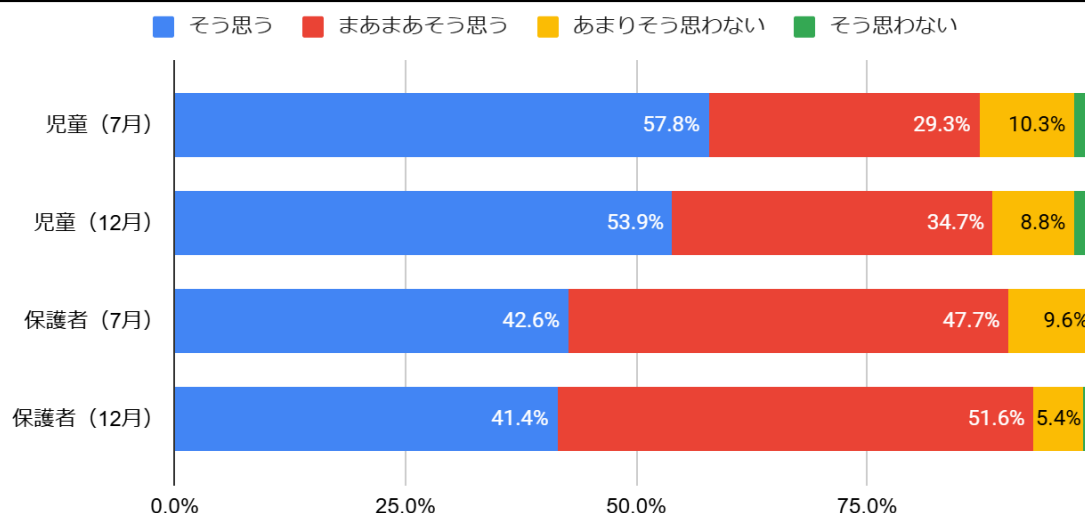
昨年同様、児童自身の肯定的な評価が高くなっています。保護者や教員も肯定的な意見が多くなっています。集団生活のきまりは自分や友達が校内で安全に過ごすためにあるということが児童に伝わっていることの結果であればうれしいです。また、気持ちのよい挨拶を身に付けることは社会に出てからも役に立つことですので、引き続き大切にしていきたいです。

④学校は子供同士のトラブルに適切に対応し、早めに解決できるように努力している。
(児童:いじめやともだちどうしのトラブルでなやんだときに、先生にそうだんできますか。そうだんをしたら先生はかいけつしてくれますか)



昨年度同様、児童と教員の評価と比べ、保護者の評価が低くなっています。「判断できない」と回答された方はトラブルを体験されていないと考えることもできます。児童へのアンケート調査や担任による聞き取り、カウンセラーとの全員面談など児童の思いをくみ取る仕組みを整えています。担任だけでなく多くの大人の目で子供たちを見守り、児童に寄り添うことを大切にしながらトラブルに対して適切に対応できるよう努めていきます。

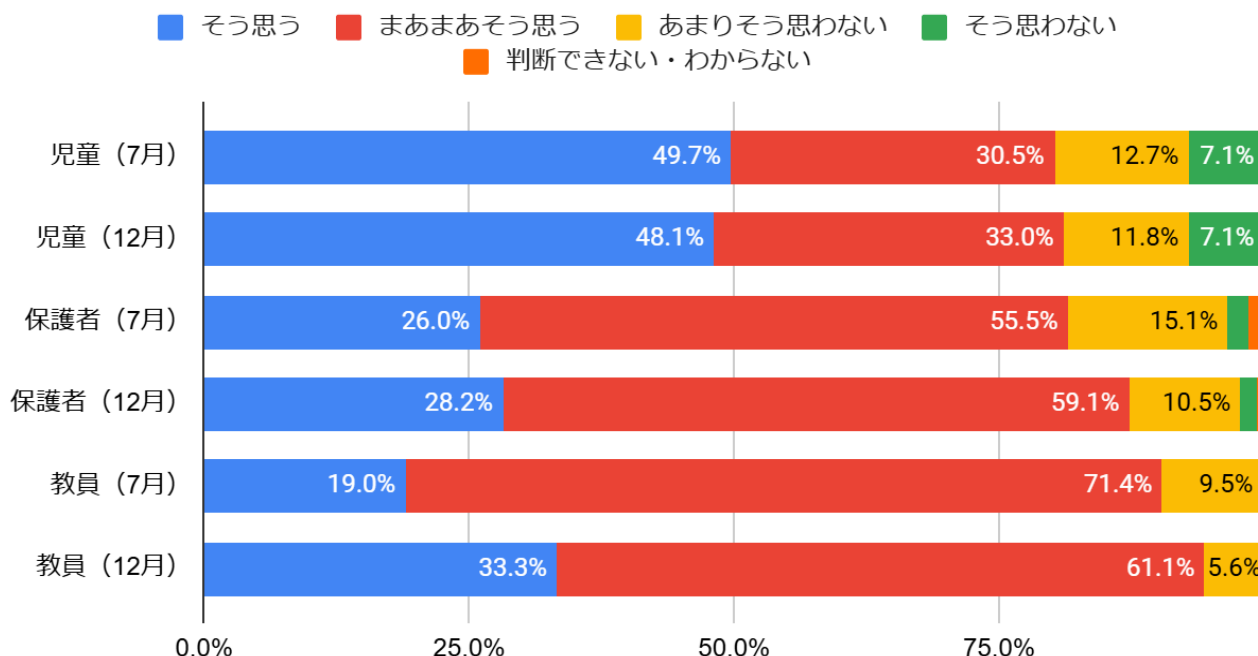
⑤児童は基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはんなど)が身に付いている。



児童・保護者共に評価が高くなっています。コロナ下での制限のある生活が終わり、ご家庭の生活リズムも整いつつあることも大きいのでしょうか。しかし、「家庭学習」や「生活習慣」について課題を感じているご家庭も少なくないようです。学校と家庭の連携を深め、児童の意欲の向上につなげていきたいと思っています。

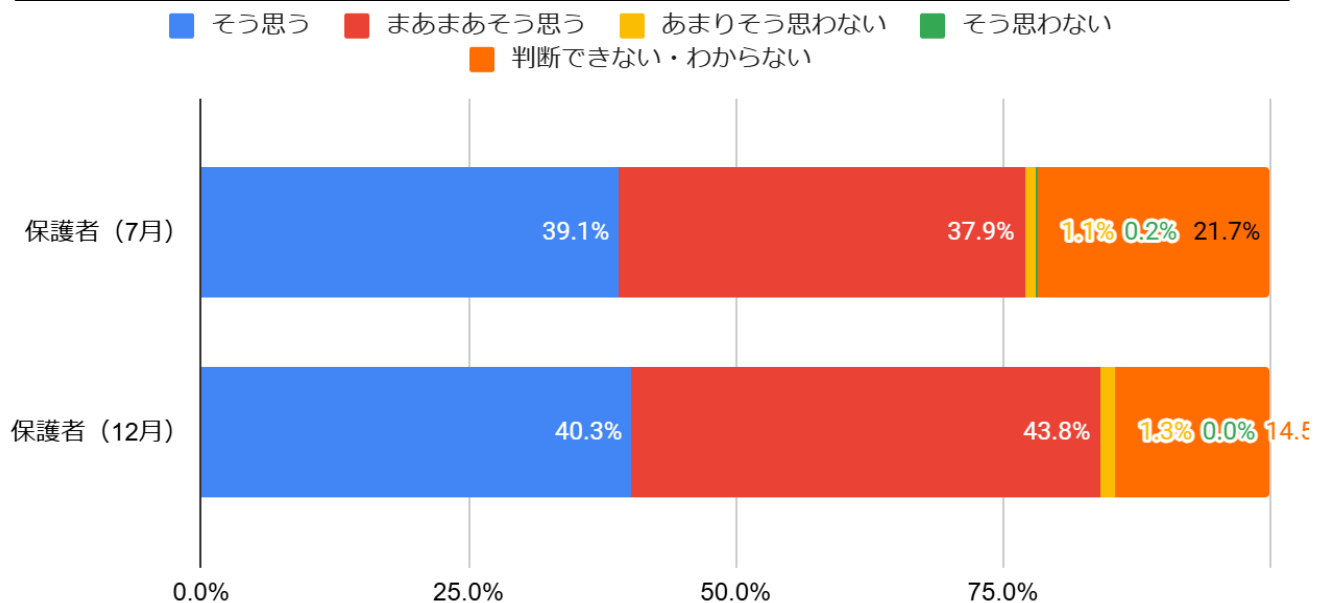
⑥お子さんは、自分に自信をもち学習・生活をしていますか。

(児童:自分に自信をもって学習していますか)(教員:児童の自己肯定感・自尊感情を高める指導を行っていますか。)



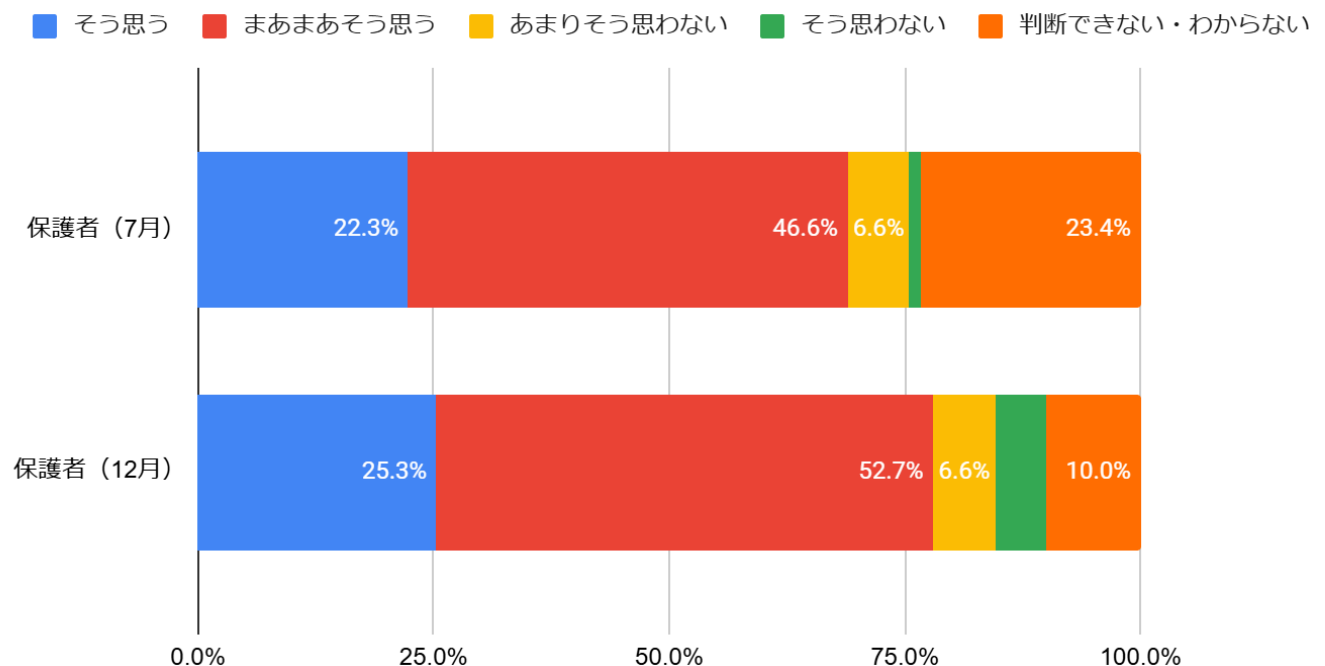
児童の回答については、前期と後期のデータは横ばいですが、保護者、教員については、前期の結果よりも後期の結果が上回りました。大東スポーツフェスティバルや、秋の授業発表会の保護者アンケートからも好意的な意見を多数いただきました。児童の頑張りが見られた結果であると考えられます。今後は、子供たちへの伝え方を工夫して接していくことで、子供たちも自信をもって生活することができるのではないかと考えます。保護者の方もご協力をお願いします。

⑦台風・降雪等の緊急時の対応は適切になされていますか。(学校連絡メール、ホームページなど)



今年度から学校とご家庭の連絡用アプリ「sigfy」が完全導入されました。「sigfy」の活用については、これまで教員向けの研修を行い、スムーズに運用ができるように心がけてきました。これまでよりも、学級閉鎖情報だけではなく、インフルエンザや発熱などによる児童の体調管理についての注意喚起メールや学習予定の変更、さらには個人面談日の変更など練馬区学校連絡メールを使用していた時よりも、保護者へお伝えできるようになりました。見落としがないように確実に見ていただければと思います。今後も「sigfy」を使って情報をお伝えしていきます。

⑧安全・安心ボランティアの活動を推進するなど、連携による安全確保は十分であると思いますか。



昨年度とほぼ同様の結果となっています。安全・安心ボランティアの方々の活動には大変お世話になっております。児童の登下校時の道路の安全確保や休み時間の見守りをしていただきまして有難く思っています。保護者の方の旗振りなども含め、地域・保護者の方に守られていることを感じます。安全・安心ボランティアは、いつでも募集しています。今年度末までに正門側の通用門に電子錠が設置される予定です。安全確保の向上に努めてまいります。